

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和六年五月度 入賞句一覧 投句数 五百二十六句

特選

田中 青志 選

平らかな国にゐてこそ花の宴

愛知県豊田市 城山 悠水

平らかな国とは、平和なる国ということ。我らが地球上には戦が絶えず、安穩に暮らせない国が多い。それは、自国の地位（ステイタス）を誇りたいためとか、その国の支配者のエゴによると言わざるを得ないのが実情。幸いにして我が国日本は、無惨な戦争から八十年近くも戦にかかわらず平和である。今年も咲く花の下、みんなそれぞれ宴を味わうことができた。平和なればこそその恩恵。この恩恵、未来永劫であることを願う。

先生のあだ名そろそろ風光る

三重県四日市市 後藤 允孝

桜の花も散つて、青葉若葉の季節。鯉幟も畳まれて、学校にも慣れ友だちもできた。あの先生格好いいな、あの先生厳しいけど優しいところあるな、などの話題も豊富。こんな中から先生のニツクネームがうまれる。明るく微笑ましいものであることが嬉しいが大事。季語「風光る」が明るくて壮快なもの、それに因むものであることが嬉しいではないか。

入園児みんな腹から声を出し

大垣市 田中 雅子

純真でなければ出来ないこと、それは腹の底から声を出すことだ。この句を読んで思い出した。「先生おはよう」腹の底から歓迎の言葉。私は小学校のころから先生になることに決めていたが、戦争による父の死から、それを果たせぬことになった。それが不幸であつたのか、幸いであつたのかは解らないが、このような純真な子たちと腹から声を出し合えなかつたことは確かである。

秀逸

野球子も散り別れけり花の雨

大垣市 立川 昌子

葱坊主ぬきん出たる子ひとり居て

大垣市 岡田 あや子

あたたかや六人乗りの乳母車

京都府宇治市 八田 弥須子

朝露にみどり彩やかウオーキング

本巣郡北方町 三輪 幸恵

糸遊や得意げに漕ぐ三輪車

揖斐郡大野町 藤田 涼子

たばこやの看板残る町薄暑

兵庫県神戸市 岸下 庄二

長閑なり山のホテルのティータイム

大垣市 森 茂寿

陽を弾くほどの返事や入学子

三重県三重郡 水野 悦子

友に馴れ先生に馴れチューリップ

福岡県福岡市 大津 英世

千年の大樹を愛でる花の宴

瑞穂市 谷 牛歩

入選

躊躇して優先席に春うらら

大垣市

中西 治美

花の滝嵌め絵のやうな川湊

岐阜市

廣瀬 あや子

坪庭に実が色づいてさくらんぼ

揖斐郡池田町

市川 香

伊吹嶺の風の足あと麦青む

大垣市

久保田 悟義

義経の悲話や桜の吉野山

奈良県奈良市

やまとなでしこ

良きことは特になけれど目に青葉

東京都世田谷区

関戸 信治

青青と伊吹の嶺に夏来たる

大垣市

北村 陽子

朝露を纏い眩しい麦畑

不破郡垂井町

矢部 順子

赤き色瞳の中のチューリップ

大垣市

岡田 幸子

清流の苔滑らかに春惜しむ

愛知県瀬戸市

宮崎 諭志

靖国の玉砂利濡らす花の雨

神奈川県相模原市

中村 光枝

なまこ壁の古りし米蔵初桜

三重県四日市市

藤田 勝民

長閑なりあだ名呼び合ふ園児かな

三重県鈴鹿市

余川 もりお

展帆に風の膨らむ春の海

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

泥土に生きる農家に燕の巢

岐阜市

花川 和久

選者吟

身の丈を知る若竹のそよぎかな

青 志



一般の部